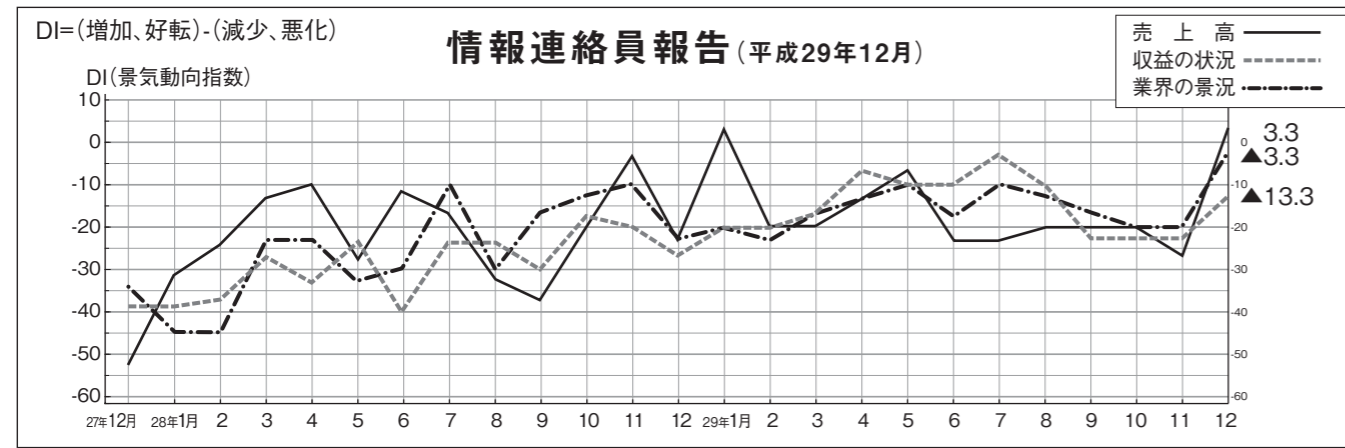


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

## 2017年12月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

<p><b>食品団地</b></p> <p>12月度商況は昨年度に比べてやや好転。20日以降宅急便荷物が全国的に急増した関係で出荷に遅れが発生した。クリスマス商戦から年末にかけて食品全般で活発な取引業況であったが、燃料値上がりが収益に悪影響を及ぼしている。</p>	<p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>出荷数量は前年同月比90.5%で大幅落ち込み。出荷量の地域差が大きい。</p>
<p><b>酒類製造</b></p> <p>最需要期の12月でやや挽回したが、やはり県内消費は横ばいとなっている。</p>	<p><b>コンクリート製品</b></p> <p>出荷数量は前年同月比54%と市況は減少状況が続いている。</p>
<p><b>水産食料品製造</b></p> <p>お歳暮の形が変わったのか、送る人が世代交代したのか干物等を使う人が減ったと実感する。売上そのものは例年並みでも随分内容が違うものになっており、ほとんど普通の月と動く商品が変わらない。</p>	<p><b>機械団地</b></p> <p>団地内は、短期的に引き合いが増加したところや、取引先等に変動がなく業況に変化がないところ、あるいは業界全体が冷え込み低迷する企業などが混在している。それぞれに好不調の波があり、先行きは見通せない状況である。</p>
<p><b>木製品素材生産</b></p> <p>12月はスギ、ヒノキ共に量は横ばい。価格はヒノキの特定径級では若干の上昇がみられたが、その他はスギ、ヒノキ共に横ばいであった。</p>	<p><b>刃物製造</b></p> <p>売上増加は得意先が増えたことによると思われるが、商品供給が思うようにならず困っている。供給がスムーズにいくようになれば運営ももう少し楽になると思われる。</p>
<p><b>製材</b></p> <p>年末期で原木が不足気味、値上がり状態、製品は需要期で上向きの状態であった。</p>	<p><b>船舶製造</b></p> <p>操業度は高い水準で推移。</p>
<p><b>製紙</b></p> <p>荷動きは活発であるが、急激に値上げされた原材料を使っでの生産であり、製品への価格転嫁が急がれる。大手家庭紙メーカーの早急な値上げを期待したいところであるが。</p>	<p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>12月度製品会取引高は前年度同月比112%であった。特に業況に変化はない。</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>県内需要は官公需、民需共に低調。県外需要は前年並みか?10~11月はまずまずに推移したが今月は前年割れと厳しい結果となった。</p>	<p><b>卸団地</b></p> <p>クリスマスから年末にかけての繁忙期が前年に比べて低調、特に大晦日前の動きは今までになく落ち着いた印象。人手不足や店主の高齢化により血縁や仕出しの規模を縮小した店が目についたほか、年末年始を休業にした店舗も例年より多かった。</p>

<p><b>青果卸売</b></p> <p>野菜・果実ともに平均キロ単価が経験したことのないような高単価で推移した結果、買上高は前年同月比で120%強と久しぶりに高水準となった。ただ利益水準は、得意先からの要望もあって厳しかったと考えられる。</p>	<p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>売上等前年度とほぼ同等。ただ、人通りや飲食店の人の入りは例年よりも多かったように思われる。特に下旬は帰省客の効果もあってか、賑やかだったように思う。遅ればせながら、地方の景気上昇の波に乗れるよう各業種の企業努力に期待したい。</p>
<p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>カツオ、マグロは例年通りの入荷量でした。組合員の減少により買高も落ち込み気味。</p>	<p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>昨年同様忘年会などの会合が減少している。宿泊者数も減少傾向である。</p>
<p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>年末は年々大人しくなっている。大型店が年始から開店する中、小さな小売店はなかなか太刀打ちできない。</p>	<p><b>飲食店</b></p> <p>飲食業界は少し景気上向きと思われる。ただし、野菜等の高騰により原材料が値上がりしている。</p>
<p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>11月まで原油価格は5カ月連続で上昇したが、12月は1バーレル60ドル前後で高止まり、元売り仕切りは4週連続で据え置かれた。高知県の石油製品価格は12月上旬に遅れていたが転嫁された。</p>	<p><b>旅行業</b></p> <p>組合クーポン前年同月100%だが、総売り上げが前年同月まで90%なので、依然として業界が厳しい状況であることは違いない。</p>
<p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>12月度は全体で前年比104.3%と好調。特にクリーナー、洗濯機は前年比108.2%、エコキュートが前年比102.3%。</p>	<p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>平成29年12月分の公共土木生コン出荷量は前月比91.6%、前年同月比77.6%。平成29年4月~12月の累計は前年比81.9%。防波堤工事など大型工事や耐震・防災関連工事は継続している。</p>
<p><b>中古自動車小売</b></p> <p>あまり変化は無い。高額商品より割安な車両が売れている状況。</p>	<p><b>電気工事</b></p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事量は前年同月比101%となった。昨年の減少分の回復には至らず、平年水準への回復に期待したい。</p>
<p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>毎年恒例の歳末大売出しを実施。</p>	<p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>組合実績は昨年同等であった。年末燃料価格は安定せず大幅値上げが懸念されたが最小限で抑えることができた。1月以降ドライバー不足等問題が山積しており厳しい経営を迫られそうである。</p>
<p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上73.7%、利用台数106.7%。リプロード跡地にビジネスホテルチェーンの新規開業ホテルがオープンし、中心部にまた一つ観光やビジネスの拠点ができた。</p>	<p><b>タクシー</b></p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:101.9%、輸送回数:99.5%。当月の実働率は70.7%。</p>

あなたの挑戦のそばに  
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

立ちどまらない保険。  
MS&AD  
三井住友海上  
www.ms-ins.com

クルマの保険  
すまいの保険  
ケガの保険

MS&AD インシアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.